

新型コロナウイルス感染症（変異株）患者等の報告について

新型コロナウイルス感染症の患者等について、変異株PCR検査を実施したところ、L452Rの変異がある変異株（※1）の陽性例が3例確認されましたので公表します。

詳しい内訳は、別紙のとおりです。

このため、これまでに県内で確認された変異株の感染者は、累計で1,267例（デルタ株等（※2）陽性例1例を含む）となりました。

また、国立感染症研究所でゲノム解析検査をしたところ、4例の結果が判明したと報告がありましたので、別紙のとおり公表します。

なお、変異株であっても、3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの対策は、従来と同様に有効です。県民の皆様におかれましては、あらためて感染予防対策の徹底をお願いします。

- ※1 「L452Rの変異がある変異株」とは、主にデルタ株等が特徴的に有する変異がある変異株

- ※2 変異株の名称については、WHO（世界保健機関）および厚生労働省が呼称を変更したことを踏まえ、以下のとおり名称を変更しています。
 - ・英国で最初に検出された変異株（英国型）→「アルファ株」
 - ・南アフリカで最初に検出された変異株（南アフリカ型）→「ベータ株」
 - ・ブラジルで最初に検出された変異株（ブラジル型）→「ガンマ株」
 - ・フィリピンで最初に検出された変異株（フィリピン型）→「シータ株」
 - ・インドで最初に検出された変異株（インド型）→「デルタ株」